

大將軍小だより

～後期学校評価号～

平成28年3月18日
京都市立大將軍小学校
校長 西村 彰高

平成27年度 後期学校評価から

今年度2回目の学校評価を保護者の皆様には1月に、子どもたちには2月にとらせていただきました。毎回、ほとんどの保護者の皆様にはご回答いただきまして、感謝申し上げます。

まず、今年度の学校評価の前期と後期を集計したものが下表です。数字は%です。

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
1	子どもは楽しく学校に通っている	前期 56	41	3	
2	フェスティバルや宿泊行事などの学校行事は意欲的に取り組めるものになっている	後期 51	45	3	1
3	子どもは基礎基本の学力を身に付けている	前期 25	59	14	2
4	学校は子どもの思考力や表現力を高めようとしている	後期 36	51	13	1
5	子どもはきまりやルールを守っている	前期 28	57	15	
6	子どもは自分から挨拶している	後期 36	50	12	1
7	子どもは家で、片付けや掃除をしている	前期 22	54	22	2
8	子どもは友だちと仲良く遊んでいる	後期 28	48	24	1
9	子どもに思いやりのある優しい心が育ってきている	前期 46	46	7	1
10	学校は子ども一人一人を大切にした教育を進めている	後期 40	50	9	1
11	困ったら教職員に相談でき、子どもについて課題や成果を共有できている	前期 28	64	7	1
12	子どもは家で時間を決めて勉強をしている	後期 34	55	11	1
13	子どもに歯磨きの習慣が身に付くよう気に配っている	前期 23	67	10	
14	子どもが地域の一員としてPTAや地域の行事に参加できるようにしている	後期 23	68	9	
15	保護者としてPTAや地域行事に参加している	前期 17	47	28	8
16	学校は子どもの安全に配慮している	後期 19	48	29	5
17	学校はわかりやすく情報発信をしている	前期 15	63	21	1
		後期 9	65	24	3
		前期 13	62	21	4
		後期 12	54	31	4
		前期 24	70	6	
		後期 29	63	8	
		前期 33	62	5	
		後期 37	58	5	

取り組んでいる評価項目を中心に、3月8日に開催しました学校運営協議会理事会で話し合いました。その項目について、紹介いたします。

なお、「よくできている」「できている」「あまりできていない」「できていない」をA, B, C, Dと表します。また、帯グラフの左側からA, B, C, Dの順にならべています。

全体を通して、保護者と児童の評価とともに「よくあてはまる」「あてはまる」が多数を占めています。各家庭で努力して頂いたり、学校においても改善に努めていることを評価して頂いたりしたからだと受け取っております。有難うございます。

学校では、子どもたち一人一人を大切にして、子どもたちの規範意識と自立・自律の心、自己有用感の高揚をめざしています。規範意識と自己有用感の高い子どもは学力も比較的に高いと言われています。

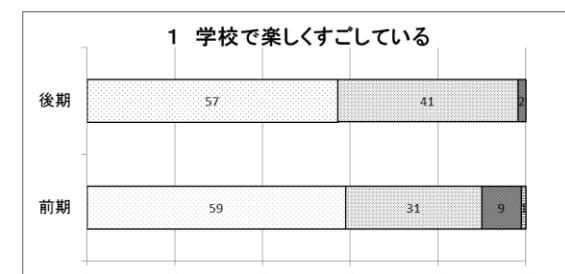
特に、学校が重点的に

<児童>		よくできている	できている	あまりできていない	できっていない
1	学校でたのしくすごしている	前期 59	31	9	1
	後期 57	41	2		
2	大將軍フェスティバルや遠足、宿泊行事などの学校行事に自分から進んで取り組んだ	前期 50	40	8	2
	後期 47	42	10	1	
3	学校の勉強はよくわかり、わからないときには質問している	前期 47	36	12	5
	後期 42	45	12	2	
4	授業中は、先生や友だちの話をよく聞いて進んで発表している	前期 46	36	17	1
	後期 35	39	24	2	
5	学校のきまりやルールをまもっている。学校でたのしくすごしている。	前期 58	35	6	1
	後期 58	34	7	1	
6	自分から挨拶をしている	前期 69	26	4	1
	後期 62	33	5		
7	家や学校で、しっかりそうじをしている	前期 46	40	11	3
	後期 37	47	12	4	
8	友だちと仲良く遊んだり、話をしたりしている	前期 69	24	6	1
	後期 73	24	2	1	
9	周りの人にやさしくできている	前期 57	34	8	1
	後期 44	47	8	1	
10	先生たちは、一人一人を大切にしてくれている	前期 72	25	2	1
	後期 63	32	4	1	
11	先生たちに困った事などを相談できる	前期 48	29	16	7
	後期 45	29	20	7	
12	家で時間を決めて勉強をしている	前期 42	30	18	10
	後期 31	31	26	11	
13	朝・昼(給食後)夜の歯磨きをして、う歯にならないよう気を付けている	前期 45	43	9	3
	後期 32	51	15	2	
14	PTAのフレンドリーサタデーや春祭りなど、地域の行事に参加している	前期 38	33	18	11
	後期 30	32	26	12	
15	普段から車・バイク・自転車などに気を付けている	前期 72	22	4	2
	後期 61	30	7	2	
16	安全のこと勉強したことについて、普段から気を付けている	前期 63	31	4	2
	後期 52	34	13	1	



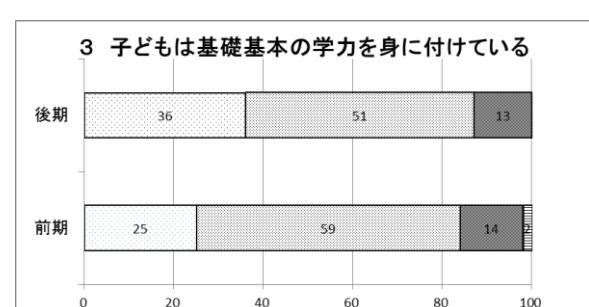
学校生活を楽しんでいるか

児童のA+Bの数値が後期は98.2%になりました。子どもの心に寄り添った取組の成果かと思います。これからも、全ての子どもが「楽しい」と答えてくれるように、子ども一人一人が満足感や達成感のもてる教育活動を進めていく所存です。



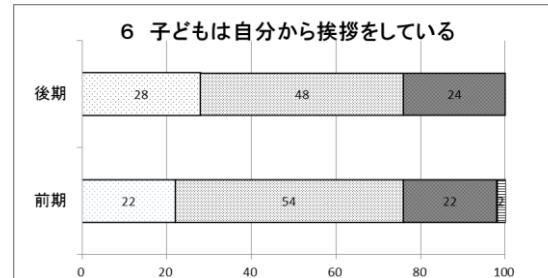
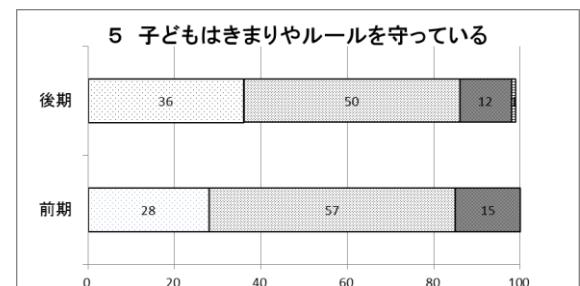
基礎基本の学力が定着しているか

保護者の皆様の評価から、子どもたちの基礎基本の学力が身についていると感じていただいているようです。これからも確かな子ども理解と深い教材研究を進め、学力向上をめざします。



きまりやルールを守っているか

社会で生きていく上で、きまりやルールは切り離すことができない大切なものです。きまりやルールを守ることは自分自身を守ることにもつながります。しっかりと守れる子どもに育てるためには大人が見本となって導くことが大切です。



自分からあいさつをしているか

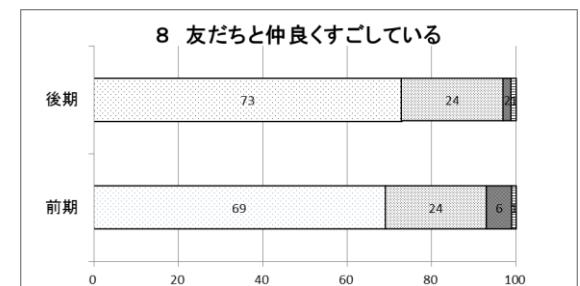
保護者の皆様の評価では「子どもは自分からあいさつしている」が増えていますが、子どもの評価は逆に厳しくなっています。1月に児童会が取り組んだ「朝のあいさつ運動」などにより、子どもは元気にあいさつができるようになってきているのは事実です。子どもたちにとっては「自分から」が課題ということです。自分をしっかりと見ているので、このような評価になったということです。学校・家庭・地域であいさつの輪を広げていきた



いと思います。

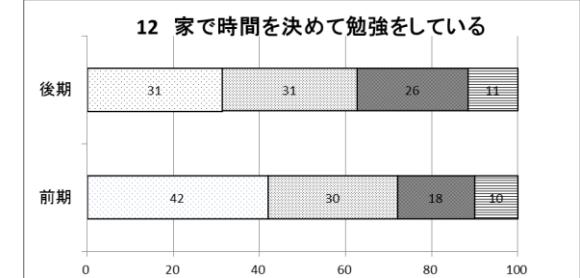
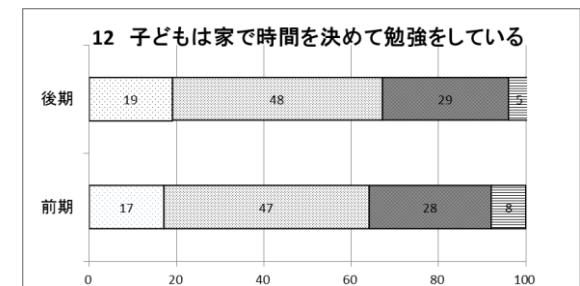
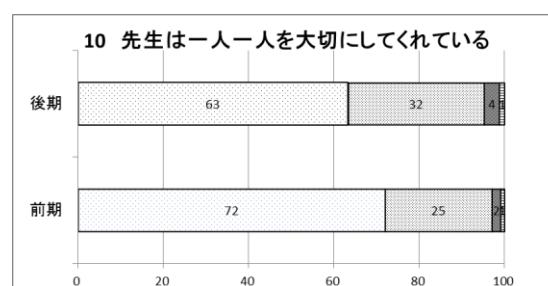
友だちと仲良くすごしているか

できていないと感じている子どもが減り、少し良好な状況にあります。友だちと一緒に過ごしている時には良い思いがもてるよう、遊び場を設けたり、話す場を工夫したり、友だちと一緒に活動する楽しさを体感させられるようにしたいと思います。



一人一人を大切にしているか

前期と比べて子どもたちの評価は厳しいものになっています。このことを真摯にとらえ、私たちは一人一人を大切にするという意味をしっかりとと考え、子どもたちや保護者の皆様に伝わるように努力を重ねていきます。



PTA・地域行事に参加しているか

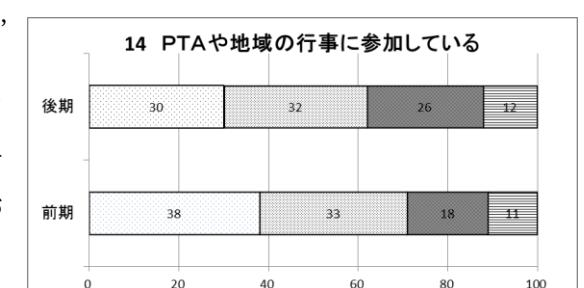
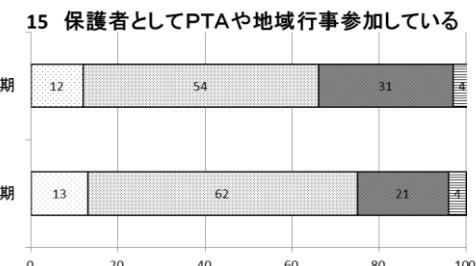
PTAや地域の皆様には子どもたちが楽しんで参加できる行事を工夫していただいている

ます。子どもたちにとっても子ども同士で横つながりや縦のつながりをもっていることは良いことだと思います。保護者の皆様にとっても、地域につながりがあることはとても大事なことだと思います。「地域の子どもは地域で育てる」をモットーに、これからも子どもたちと一緒にPTA・地域行事への積極的なご参加をお願いいたします。

家庭で時間を決めて学習しているか

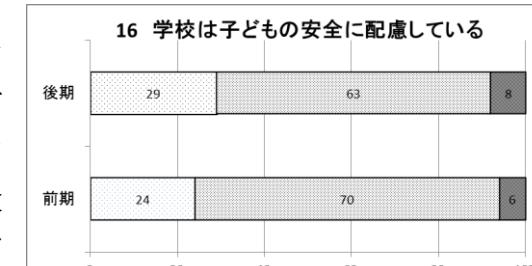
保護者の皆様の集計結果では前期と比べて、時間を決めて学習していると答えていただいた割合が少し増えていますが、子どもたちは時間を決めて学習していない割合が増えました。

予習や復習が授業と結びついた時、学力の定着が確かなものになります。家庭学習を生活の中に位置づけ、習慣化させたいものです。学校では、(学年) × 15 分といった学習時間をお伝えしていますが、各学年のねらいや内容、注意すべき点など具体的な家庭学習の進め方について、学校から積極的に発信していく考えています。



子どもの安全に配慮しているか

校区には多くの車・バイク・自転車が通っています。そして、危ない場面も見かけます。ご家庭や学校で、遊びの時の安全や防犯についての話をしても、子どもたちは周りの状況や危険を察知することができないようです。子ども自身の安全意識がより高まるように、これからも粘り強く指導していきます。



「安心と信頼の学校づくり」目指し、さらに努力してまいります！

これからも「学校評価」にご協力を宜しくお願ひいたします。